本庄支部 吉田 豊

本庄支部の大衆芸能の「本庄一座」はコロナ禍で約4年間停止していました。 諸活動が開始されたのに伴い、高齢者が多い「本庄一座」ですが恐る恐る再開しました。 10月、11月は深谷市での人形供養祭に前座や自治会の地区サロンで公演しました。



最近、豊友会に入会し「本庄一座」を知らない方も多くなり ました。そこで少し説明します。

「本庄一座は」2007年の支部長大澤さんが健康産業に携わり、お世話になった病院や施設へ応援になればと提唱された福祉活動です。時々、支部の懇親会の余興としても親しまれてきました。その後も高齢者施設の慰問を中心にコロナの前は月に一度の割合で慰問を続け、入居者やその家族、施設職員から喜ばれ2010年11月には埼玉県知事賞(現在のシラコバト賞)の表彰を受けました。

支部会員の奥さんや友人も友情出演するようになりましたが

コロナ禍で活動停止、この4年間で高齢になり、音響装置も古くなり再開が危ぶまれました。 しかし、再開したらコロナ禍でも練習や運動をして体調を整えていたようで無事何とか演技 できました。そして会場の人たちに喜んで頂きました。

写真・後列左からフランダンスの福島、久保さん、新日本舞踊の渡部さんと奥様(一番右)、 尺八の水澤さん、独唱の小泉さん、新日本舞踊の納見さん、日本舞踊の宮澤さん、前列司会、 独唱の須藤さん、安来節の大澤さん、フランダンスの小暮さん、お琴の桒原さんです。 そして11月も全国各自治体にある高齢者向けサロン活動(深谷市)に参加しました。 今回は斎藤繁さんが久しぶりにギターの弾きながらの「街の灯り」を披露しました。







公演後は軽食と地元の皆様からのお土産(里芋、蜜柑)頂きました。

高齢者社会では、今、元気な高齢者が社会に対して何をするか(社会的ミッションの追求)が問われている段階ではないでしょうか。「本庄一座」は一芸で高齢者社会を少しでも明るくしたいと考えているだけです。

本庄支部だから出来る企画です。是非今からでも遅くありません。ご協力下さい。